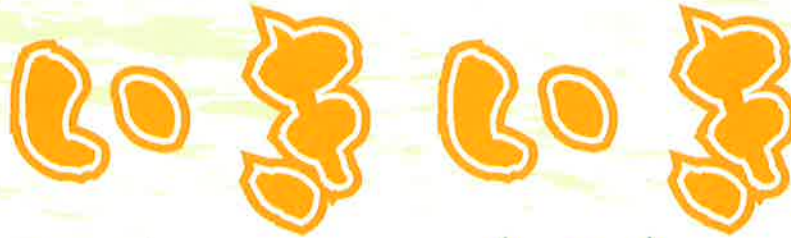




第15号

平成29年9月20日発行
舟石川・船場地区自治会
編集：企画・総務部会



地区自治会長あいさつ

地区自治会長 萩谷 清美

この度、舟石川・船場地区自治会の地区自治会長を仰せつかりました船場区自治会長の萩谷でございます。歴代の会長様始め、各部会の皆様のご努力により築き上げられました地区自治会の活動の活発さには敬意を表する次第であります。

今年度の活動も既にスタートし、6月には大勢の親子が参加した「親子ジャガイモ収穫まつり」が行われ、ジャガイモ掘りの後、新ジャガイモの試食をしました。

7月には「村政懇談会」が行われ、予め行政側へ質問をしておきました案件の回答を頂き、その後、参加者からの質問に村長や村の執行部の方々から回答がありました。

7月22～23日の「村民会議舟石川支部キャンプ」には、昨年の参加者を大幅に上回る217名の子ども達がキャンプを楽しみました。初日には、カボチャでランタン作りや木工細工、夜にはキャンプファイヤーとグループでの歌合戦、子ども達にとっては楽しい2日間となったようです。

7月最後の日曜日は、埴輪作りがあり、子どもと大人をあわせ198名の参加がありました。この2つの行事には年々参加者が増えている様です。

8月の「くらしに役立つ勉強会」では、村立東海病院から2名の先生をお呼びして「生活習慣病について」「食生活による生活習慣病の予防」をテーマにご指導頂きました。

東海村では、若手職員が地域活動の現状について理解を深めるとともに、地域協働についての視野を養う事を目的として、地域との交流研修を実施している中で、今回、地区自治会には入庁2～3年目の3名の若手職員を受け入れることになりました。この地域で行われる地域まつりの現状を見て聞いて勉強する一助になればと思います。行政と地域が協働してまちづくりをする基本に成立ち、地区自治会活動がいつまでも隆盛である事を願います。



平成29年度役員・監事紹介

| 役名 | 氏名 | 役名 | 氏名 | 役名 | 氏名 |
|-----|--------|-------------|-------|-------------|--------|
| 会長 | 萩谷 清美 | 理事安全・安心部会長 | 高橋 範夫 | 理事建設・環境部会長 | 藤本 啓二 |
| 副会長 | 伊藤 良治 | 〃 安全・安心副部会長 | 植木 伸寿 | 〃 建設・環境副部会長 | 寺門 博孝 |
| 副会長 | 山川 典夫 | 〃 福祉部会長 | 川野 次男 | 〃 企画・総務部会長 | 鹿志村 直也 |
| 理事 | 熊谷 克美 | 〃 福祉副部会長 | 萩谷 毅彦 | 〃 企画・総務副部会長 | 照沼 昇 |
| 〃 | 高橋 範夫 | 〃 教育部会長 | 山川 典夫 | | |
| 〃 | 鹿志村 直也 | 〃 教育副部会長 | 伊藤 良治 | 監事 | 小松崎 敬信 |
| 〃 | 藤本 啓二 | 〃 農・工・商部会長 | 小川 恒久 | 〃 | 福島 健二 |
| | | 〃 農・工・商副部会長 | 萩谷 良一 | 〃 | 坏 茂 |



舟石川・船場地区自治会定期総会 4月30日

| | |
|---------------|-----|
| - 目 次 - | |
| 地区自治会長あいさつ | 1 |
| 平成29年度役員・監事紹介 | 1 |
| 地区自治会活動 | 2～3 |
| 29年度村政懇談会報告 | 3 |
| 舟石川・船場地区社協だより | 4～5 |
| 舟石川支部だより | 6～9 |
| ニューススポット | 10 |
| かわらばん | 10 |
| 編集後記 | 10 |

地区自治会活動

和やかに、和気藹藹、楽しく活動

(建設・環境部会) 部会長 藤本 啓二

平成29年度は、部会員15名で活動を行っております。活動内容については、以下の通りです。

舟石川・船場地区は、住宅が多く立ち並び、都市化が進行している面もございますが、まだまだ豊かな自然環境が多く残っております。

その第一としては、豊かな環境の象徴である「サワギキョウ」(沢に自生していて、キキョウに似た紫の花が咲く野草)の保護育成に取り組んでおります。水神堂の湿地帯に自生していますが、葦などの草に覆われてしまい、いっこうに目立ちません。部会員が、それらの草を一本一本手で刈り取っております。

第二としては、舟石川コミュニティセンターの環境美化に貢献しております。春と秋の2回プランターや花壇に花を植えております。

第三としては、コミセンでの地域まつりの際、白玉ぜんざい、小豆、粒あんを販売いたしております。どうぞ奮ってご利用いただければ幸に存じます。

最後に個人的な見解ですが、部会の名称である「建設」について、「建設」とは何を行えばよいものかと疑問に思っておりました。ここ数年来地区内の道路等で問題になっている箇所があります。その改善が図れればと思うようになりました。このことは部会の今後の課題になるように思われます。

部会員一同和気藹藹、和やかな雰囲気の中で楽しく活動を行っております。ぜひ、今後とも部会活動に對しまして、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

夢中で親子でじゃがいも掘り

(農・工・商部会) 部会長 小川 恒久

今年で3年目、農工商部企画のジャガイモ掘り体験を行いました。6月17日朝霧が深い午前7時に部会員が畑に集合、蔦切り、ビニール剥がし、トラクターで深堀、会員の作業開始は、1回目が午前9時半、2回目を10時に分け、品種別に北アカリ、洞爺、男爵の3種類を次々と掘り起こしました。

毎年参加されている舟石川小学校児童及びPTA役員の方々と、役場から担当者(農政課長、同補佐)また、初めて参加されました山田東海村長から、親子3世代のすばらしい行事である旨の、代表者挨拶を頂きました。

参加された皆様は、芋ほりの注意を頂き、私たち部員は、お褒めの言葉とねぎらいの言葉を頂きました。

作業開始と同時に親子で袋詰め放題、3世代親子兄弟(姉妹)が共に力を合わせ、楽しくお話ししながら頑張っている様子が良くみえました。

この後、部員と奥様方の手伝いを受け、厨房で新ジャガイモの試食をし、今年のジャガイモは今迄になく美味しいと、中には僕たち8個食べた、大きな声が聞こえました。

子ども達を見ていると、関係者の1人として大変うれしく、この行事をいつまでも続けたいと思いました。



今年も地域の安全・安心を目指して

(安全・安心部会) 部会長 高橋 範夫

今年の安全・安心部会事業第一弾として、去る6月29日東海駅東口にて「自転車盗難防止キャンペーン」を実施しました。行政・東海地区交番所長の参加のもと、部会員10名により駐輪自転車の二重ロックや防犯登録の点検を行いました。

約500台近くの自転車を一台一台点検、結果は防犯登録は大半しておりましたが、二重ロックについてはほとんどされていませんでした。今後も、12月・3月に計画しております。

7月20日には、舟石川コミセンで防災設備の点検や操作訓練等を実施しました。備えあれば憂いなしです。

10月には「高齢者の自動車運転講習会」も計画しております。多くの皆様の参加をお待ちしております。



“暮らしに役立つ勉強会”を開きました

(企画・総務部会) 部会長 鹿志村 直也

8月5日、舟石川コミュニティセンターで“暮らしに役立つ勉強会”を開催しました。

村立東海病院より医師の薄井先生と管理栄養士の照山先生をお招きし、「生活習慣病」をテーマに講演をいただきました。

第一部では薄井先生から、肥満をきっかけに高血圧症、脂質異常症、糖尿病が発症し、1つ1つが軽症でも合併すると動脈硬化の危険が高まり、ついには心不全、脳卒中などに至るメタボリックドミノについての説明がありました。予防には、食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足など生活習慣を見直すことが大切だとの指摘がありました。

第二部の照山先生からは、生活習慣病を引き起こす動脈硬化を予防するためには、血管の健康を保つことが重要で、そのためにはバランスのとれた食事を摂る必要があります。1日に「なに」を「どれだけ」食べればよいのか、具体的な品目を挙げての説明がありました。

改めて生活習慣病のメカニズムとその怖さを知り、予防のためにはバランスのとれた食事を続けることの重要性を再確認することができました。



薄井 尊信 先生



照山 陽子 先生



29年度村政懇談会報告

(企画・総務部会) 副部会長 照沼 昇

7月7日(金) 19:00~村政懇談会が村内6地区の最後を飾って、舟コミで開催されました。一般参加者は昨年より若干少ない106名です。

鹿志村直也企画・総務部会長の司会進行のもと伊藤良治自治会長の開会のことばに続き、萩谷清美舟石川・船場地区自治会長にご挨拶をいただき、山田東海村長のご挨拶並びに村政の説明で懇談会が開始されました。

例年、舟石川・船場地区の懇談会では厳しい質問が相次ぐので緊張しております。とは、村長の言でしたが、①東海駅西での自転車貸し出しについて、②路線バスの運行見直しについて、の2つの事前質問に続き以下の自由質問が相次ぎました。

【以下自由質問内容】

- ・広域避難は取手市等のみに限定しないで、広範囲に設定してはどうか?
- ・交流館建設は住民投票に計ってはどうか?
- ・東海駅西側広場の整備計画は、駅東や日立駅や日立多賀駅と比べてもかなり見劣りがするのではないかと?
- ・近隣公園の駐車場が少ないため、付近の住民が迷惑している。
- ・舟コミの駐車場やホールを広くしていただきたい。
- ・東海駅から6号に向かう道路は4車線道路のため、安全を重視し既存の村道が遮断されて不便を感じている。自転車道が整備された場合は片側1車線に戻るのか、その場合は、従来どおりの村道の通過通り抜けが可能になるのか?
- ・村道の拡幅計画はどうなっているのか。同意書を添付して度々申請しているのだが?
- ・近隣公園の注意書きに、犬の糞を禁止との項目があるが、糞だけに限定しないで汚物を禁止と訂正してはどうか?(犬の小便を注意できないため?)
- ・正気館のところの交差点が危険で、毎年この懇談会でも提案しているが、事故が起きなければ改善に着手しないのか?
- ・自治会の加入率が舟石川は42.7パーセントである。行政は、もう少し効果のある手が打てないのか?

等々の事前質問や自由質問の内容や回答はこの欄には書ききれませんので、是非村ホームページをご覧ください。8月中旬ごろに公表される予定ですので、「村政懇談会開催結果」と検索してください。

満足な回答が得られたとは思えませんでした。時間いっぱいまで活発に討議がなされ、山川典夫自治会長の閉会のことばで終了となりました。

29年度 総会開催される

本年度定期総会が4月23日(日)に123名の参加で舟石川コミセンにて行われました。28年度の事業報告、決算報告及び29年度の事業計画、予算が承認されました。「向こう3軒両隣り、声を掛け合い助け合い」をモットーに楽しく活動していくことが確認されました。今回は役員改選があり、右表のように決まりました。役員の方々の活躍を期待します。



川野会長の挨拶



| 平成29年度舟石川・船場地区社会福祉協議会役員 | | |
|-------------------------|----------------|--------|
| No | 役職 | 氏名 |
| 1 | 会長 | 川野 次男 |
| 2 | 副会長 | 萩谷 毅彦 |
| 3 | 副会長 | 中村 光子 |
| 4 | 舟1部会長 | 福地 さか江 |
| 5 | 舟1副部会長 | 小林 康代 |
| 6 | 舟1副部会長 | 泉 幸男 |
| 7 | 舟2部会長 | 名村 澄子 |
| 8 | 舟2副部会長 | 舛井 洋子 |
| 9 | 舟2副部会長 | 森野 明和 |
| 10 | 船場部会長 | 後藤 のりこ |
| 11 | 船場副部会長 | 紺野 美枝子 |
| 12 | 船場副部会長 | 萩谷 洋子 |
| 13 | 総務部会長 | 近藤 忠美 |
| 14 | 総務副部会長 | 阿部 照子 |
| 15 | ふれあい協力員リーダー | 石川 賢 |
| 16 | | 岩崎 薫 |
| 17 | | 和知 正勝 |
| 18 | | 白土 裕一 |
| 19 | | 上条 八洲江 |
| 20 | | 藤井 久美子 |
| 21 | | 遅塚 敏夫 |
| 22 | | 石上 イク子 |
| 23 | | 宮本 京子 |
| 24 | | 船場部会 |
| 25 | | 後藤 宏 |
| 26 | 監事 | 鹿志村 直也 |
| 27 | | 高橋 範夫 |
| 28 | 事務局長 | 遠藤 弘 |
| 29 | 舟石川コミセン事務サポーター | 関 修一 |

第14回 歩く会 4月16日(日)の報告



白方溜の桜



「豊岡田圃」を歩く

白方コミセンから豊受神社を通り、白方溜、豊岡の田圃地帯を回りました。青空のもと満開の桜を楽しみました。



国道245脇の山桜



コミセン前で昼食

あなたも「ふれあい協力員」として活動してみませんか

本会は、すべて「ふれあい協力員」の活動が基盤となっています。この舟石川学区の多くの方々に「ふれあい協力員」へ参加をお願いし、地域福祉の充実活動を共にできることを願っております。「ふれあい協力員」に参加してみようと思われる方は下記までご連絡ください。舟石川・船場地区社会福祉協議会事務局 関まで 電話283-1951

船場部会の活動

活動拠点である営農生活センター、建設当初の目標を達成したこと、建物の耐震問題が重なり惜しまれながら解体されました。センターでの活動は中断しております。グラウンドでのサロン「桜」が元気に楽しく活動しております。跡地には新たな集会所が建設されると聞いておりますが厳しいご時世の中、艱難辛苦乗り越え早期の竣工を心待ちにしているところです。



解体された敷地と解体前の営農センター 営農センターの桜 サロン「桜」クローカーで健康増進

舟2部会の活動

恒例の「お楽しみ食事会」も6回目となり、5月26日、舟石川コミセンで行われ、80歳以上の方47名が参加されました。保育園児と共に手遊び歌をし、地元の方たちのフラダンスを楽しみ、ハーモニカを伴奏に懐かしい曲を皆で歌いました。飛び入りで踊る方も出て、会場は大いに盛り上がり和やかな雰囲気でした。手作りお弁当も好評で、近所の方との話も弾んだようです。

お手伝いの協力員50名の中で、6名は招待された方々です。地域の催しに参加し、活動することが元気の源であると痛感しました。舟2部会長 名村 澄子



お楽しみ会場



舟1部会の活動

7月2日、3世代の七夕まつりを楽しみました



笹竹に飾り付けをする



立派な七夕ができました

サロン紹介

パールの会 (舟二)



平成13年11月発足した会も7月の事業で181回を迎えることができました。目的は独居老人・昼間独居・老夫婦の方々の引きこもり解消に少しでもお役にたれたらとの想いで、民生委員、ボランティアの皆さんの協力を得てスタートしました。回数を重ねる毎に、これまで知らなかった人達が友達になり話している様子に喜びを得ています。行事としては、体操、ゲーム、近くの公園の散歩、時にはお茶席を設け優雅に、そして出前講座を受けての頭の体操も、折り紙、手芸等々やっております。

現在男性の参加者がおりませんのでお待ちしております。パールの会代表 高杉 正子

さわぎきょう短信

家庭菜園をしています。「種袋の種」は、そのままでは芽が出ません。土に播くと初めて芽が出ます。何とも不思議で神秘的に満ちています。我々のボランティア活動も何らかの行動をして、種を播かなければ目に見る芽は出ません。今回の「ポイント制」の実現はそのよい成果だと思えます。みんなでこの成果を実のなるように育てていきたいと思うこの頃です。舟1 近藤 忠美

平成29年度支部定期総会

5月28日(日) 舟石川コミュニティセンター

各部長、自治会班長、教育関係者ら多数が出席され、平成29年度支部総会が開催されました。数多くの意見交換がなされ、平成29年度の役員と、事業計画が承認されました。

平成29年度 青少年育成東海村民会議舟石川支部役員

| | | | | | |
|-------|--------|-----------|----------------|--------|-------|
| 支部長 | 山川 典夫 | 副支部長 | 伊藤 良治 | 副支部長 | 萩谷 清美 |
| 家庭委員会 | | 地域委員会 | | 青少年委員会 | |
| 委員長 | 泉 幸男 | 委員長 | 戸川 隆 | 委員長 | 大島 容美 |
| 副委員長 | 佐藤 百合子 | 副委員長 | 米川 秀美 大園 知子 | 副委員長 | 熊谷 克美 |
| 広報委員会 | | 事務局 | | | |
| 委員長 | 小泉 浩康 | 照沼 昇 | 岩本 貞雄 | | |
| 副委員長 | 土生都 未来 | 小川 敬一 | 関 修一(コセ) | | |
| | 松本 タ子 | 野上 幸広(舟小) | 岸 善信(南中) | | |

平成29年度 事業計画

| | |
|----------|---------|
| 5月14日 | トレッキング |
| 5月28日 | 支部定期総会 |
| 7月22・23日 | 夏季キャンプ |
| 7月30日 | はにわ作り |
| 9月20日 | 広報誌発行 |
| 10月7日 | ピザ作り |
| 10月22日 | ふれあい運動会 |
| 12月17日 | しめ縄・餅つき |
| 3月10日 | 広報誌発行 |

平成29年度 舟石川支部 活動方針

支部長 山川 典夫

全国では、子どもたちが事故や犯罪に巻き込まれる報道が後を絶たず、安全に生活できる環境が悪化しています。今こそ、私たち大人がモラルをしっかりと持って、どのような未来を舟石川・船場地域の子どものために残して行くべきかを、真剣に考え取り組んで行かなければなりません。そのためには舟石川支部が、地域のコミュニティと連携し、安心して子どもたちが暮らしていける環境づくりが必要です。

そのために、次代を担う青少年には多様な価値観を受け入れつつ、自己の考えを持ち、個性や創造性を十二分に発揮するとともに、社会との関わりの中で自己実現を図ることへの情熱と行動が求められています。

しかしながら、近年、青少年の特徴的な傾向として、自主性や社会性の遅れが指摘されています。そうした中で、青少年が自ら考え、実行しその行為に責任を持つ機会や場づくりへの期待が高まっています。

私たち村民会議舟石川支部は、これらのことを念頭に入れ、支部の活動を通して、ますます青少年とのふれあいと交流を深め、青少年の健全な育成を推進して参りたいと考えております。

関係各位の一層のご理解とご支援をお願い致します。



雪入山トレッキングとバーベキュー

平成29年5月14日(日)

【地域・家庭委員会】

参加者：約79名

新緑の季節に、かすみがうら市にあります雪入山でのトレッキングと県中央青年の家でのバーベキューを行いました。



はにわ作り

平成29年7月30日(日) 会場：舟石川コミセン 【家庭委員会】
参加者：子ども：98名、保護者：75名、スタッフ：25名
今年も大人気のはにわ作りを体験しました。



はにわを作った。水のつけくあいが難しかった。楽しかった。

熊谷 幸菜

かわいいハニワができてよかった。

佐藤 菜奈

はじめてのはにわづくり。かっこよくつくれてよかった。

橋本 悠生

「すみっコ」のはにわをつくれたのがよかったです。

山口 あさは

電気炉で焼き上がった作品

夏季キャンプ

平成29年7月22日(土)～23日(日)
 【地域・家庭委員会】
 キャンプ地：舟石川小学校
 参加者：小学生217名
 中学生 7名
 役員・保護者約150名

昨年も盛況でした夏の「親子ふれあい事業」の一泊のキャンプを今年も舟石川小学校で実施しました。「子ども達が考え、判断し実行すること」を目標にして、コミセンでは、カレー作り、船場集会所ではキャンプファイヤー、3ヶ所の移動を活用したじゃがいも掘り、ほたる狩りなどを経験しました。何よりも一晩テント宿泊体験を行いました。



参加した子ども達を紹介します



(右下の数字は班番号です。)



ニューススポット

富士社晚霞「東海十二景」

今回のニューススポットでは、意外に知られていない場所を紹介いたします。

東海十二景という言葉聞いたことのある方は多いと思いますが、舟石川・船場地区に東海十二景がいくつあるかご存知ですか？
答えは2つ、ひとつが船場の「稻荷社杉風」もうひとつが本誌で紹介する舟石川地区の「富士社晚霞」です。

東海駅西大通りを国道六号線に向かって進み、かえで通りを越した右手奥に富士社の森と隣に広がる田が見えてくるとそこが「富士社晚霞」です。

大通りを右に折れ、道を下った先には昨年設置された東海十二景の案内板が見えます。

富士社の鳥居をくぐり、石段を上る途中で振り返ると、木々の間から田を見渡すことができます。恵みをもたらす田とそれを守る社の森の佇まいの風景には心が癒されます。一方、夕暮れの空を背景に見る富士社の森は、暗く圧倒的な大きさに目の前に迫ってきて、肌が粟立つほどです。

このように、一日のうちでも時間によって、色々な面を見ることが出来る「富士社晚霞」、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



かわらばん

【舟石川・船場地区自治会】

- 広報誌第15号発行 9月20日(水)
- 村民会議ピザ作り 10月7日(土)
- 村民会議ふれあい運動会 10月22日(日)
- 地域まつり 11月11日(土)
- 村民会議しめ縄作り 12月17日(日)
- 広報誌第16号発行 3月10日(土)

【船場区自治会】

- 区内道路等環境整備作業 5月～10月
- 区民移動研修会 11月10日(金)
- 区民新年懇親会 2月11日(日)
- 安心サポーター研修会 2月18日(日)
- 区自治会通常総会 3月25日(日)

【舟石川一区自治会】

- 敬老の集い 10月1日(日)
- 秋の区内清掃 11月
- 住み慣れた地域で暮らすための講話 11月
- 防災訓練(防火訓練) 12月2日(土)
- 地域交流研修旅行 1月
- 三世代交流「春のつどい」 2月
- 広報「舟一だより」15号発行 3月
- 区自治会定期総会 3月25日(日)

【舟石川二区自治会】

- 舟二だより第19号発行 10月1日(日)
- 三世代交流グランドゴルフ 11月18日(土)
- 防犯パトロール年次大会 1月14日(日)
- 舟二かわら版発行 3月1日(木)
- 区自治会定期総会 3月25日(日)

編集後記

(企画・総務部会) 部会長 鹿志村 直也

広報誌「いきいき」の第15号をお届けします。
私事ですが、初めての自治会活動で、何も分からないまま広報誌の編集に携わりました。戸惑うことばかりでしたが、部会のメンバーのサポートのおかげで、無事に発行することができました。今、ほっとしているところです。

